



放送大学栃木学習センター とちの実 *Tachinomi*



新年のご挨拶

新型コロナウイルスの影響がまだ続いております。

心よりお見舞い申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

間もなく2021年度第2学期単位認定試験を迎えます。

厳しい寒さが続いておりますので、体調を整えじっくり準備してください。

今年もまた、私たち栃木学習センター職員一同は

全力を尽くして皆様の勉学をサポートしていく所存です。

何卒よろしくお祈りいたします。

放送大学栃木学習センター職員一同

ロウバイ(宇都宮大学内)

目次

巻頭言	p.2	特別ゼミのご案内	p.10~12
2021年度第1学期学位記授与式	p.3~5	公開講演会のご案内	p.12
2021年度第2学期単位認定試験	p.6~7	来学期(2022年度第1学期)の 単位認定試験	p.13~14
次学期の準備	p.8~9	キャンパスカレンダー	p.15
図書だより	p.9	学習相談日	p.16

巻頭言

HSC（Hyper Sensitive Child：敏感過ぎる子）と不登校

作新学院大学教授

西谷 健次

[心理学・教育心理学]

令和2年度の小中学生の不登校者数は約19万6千人となり、過去最多を記録しました。不登校者数は小中学校とも平成24年度から増加の一途をたどっていますが、特に顕著なのは小学校での増加で、この8年間で実に3倍以上も不登校者数が増加しています。この統計結果で問題となるのは、単に不登校者数が量的に増加していることではなく、不登校の原因が質的に変化してきていることです。

もともと不登校は、友人関係（「いじめを除く人間関係をめぐる問題」）や勉強についていけない（「学業不振」）など、他者との比較による自尊感情や自己肯定感の低下によって生じていました。そのため、他者と比較する力がまだ十分に成長していない小学校低学年では、不登校の生徒はほとんどいませんでした。しかし、今は違います。「教室のざわつきが堪えられない」や「先生の声が大きすぎて叱られている気持ちになる」など、学校そのものに溶け込めない、いわゆる「無気力・不安」が主たる原因となっています。その結果、他者との比較ができない小学校低学年の不登校も、今やめずらしくなくなっているのです。

子供の「無気力・不安」と関係が深いと考えられるのが、「HSC（Hyper Sensitive Child：敏感過ぎる子）」です。HSCはアメリカの心理学者エレイン・N・アーロン博士が提起した概念で、敏感過ぎるという特性（情報を深く処理してしまう、刺激を受けやすい、周囲の些細な変化に気付いてしまう、情動反応が強く共感しすぎてしまう）を持った子供たちのことです。HSCはあらゆる刺激に強く反応し過ぎてしまうことから、例えばクラスで友達と話していても、友達のちょっとした一言をあれこれ考え過ぎてしまい結局は何も答えられなくなってしまったりなど、普通に生活するだけでもかなりの労力を必要とします。傍から見るとボーッとしているようにしか見えない場合も少なくありませんが、HSCの頭の中は常にフル稼働しているのです。HSCにとっての教室とは、一瞬たりとも気を許すことのできないひたすらに神経をすり減らす場であって、どこから弾丸が飛んでくるかわからない戦場のようなものとも言えるかもしれません。ちなみにHSCの特性は、発達のかなり早い段階から顕在化するといわれています。小学校での不登校者数の増加は、小学校段階でのHSCが増加してきたからなのではないかと私は考えています。なぜHSCの小学生が増加しているのかについては今後の研究が必要ですが、HSC（大人の場合にはHSP：Hyper Sensitive Person）は人口の15～20%いると言われておりますので、今後も不登校者数は増加し続けるのではないかと危惧しています（令和2年度の小学校の不登校率は約1%）。

HSCへの確たる対応方法があるわけではありませんが、まずはHSCの特性を持った子供が一定数いるという認識を持ち、そうした子供たちの声にしっかりと耳を傾けてあげることが対応の第一歩ではないでしょうか。

2021年度第1学期学位記授与式

ご卒業おめでとうございます

10月3日(日)、栃木学習センター大講義室で「2021年度第1学期学位記授与式」を行いました。

栃木学習センターからは、教養学部生35名が卒業されました。また、その中から6名の方が生涯学習奨励賞(卒業・修了回数3回目以上)を受賞されました。

栃木学習センター教職員一同、心よりお祝い申し上げます。



【生活と福祉コース】	9名
【心理と教育コース】	11名
【社会と産業コース】	6名
【人間と文化コース】	3名
【情報コース】	1名
【自然と環境コース】	5名
計	35名

卒業生代表挨拶

泉 邦子 様 (心理と教育コース卒業)

ただ今ご紹介頂きました泉でございます。まずは、卒業という今日の良き日を迎えることが出来たのは、先生方、そして栃木学習センターの職員の皆様方が私達学生をしっかりと支えてくださったおかげだと深く感謝しております。

そして放送大学に入学し、マイペースで好きな科目が学べる恵まれた環境に5年間在籍して学位記授与式を迎えた今、感謝と感動で胸がいっぱいです。放送大学は入学するのは難しくありませんが、卒業するのは決してやさしくはありません。なぜなら、数多くの面接授業や単位認定試験に合格し卒業要件を満たす必要があるからです。仕事や家庭と時間調整をして勉強時間を確保し学ぶことにより、新しい発見や気付きによって視野が広がっていく過程は、充実した楽しい時間でした。学びが進むにつれ以前からの児童虐待を防ぎたいとの思いが一層強くなり、今後も乳幼児、児童の心理臨床などの学びを深めていきたいと思っております。

今、世の中は新型コロナウイルスの影響で窮屈な非日常生活となっております。放送大学でも重要である単位認定試験が自宅受験となり、面接授業の一部がZoomに変更になるなど非常に大きな影響が及んでおります。一刻も早く事態が収束し元に戻ることを願ってやみません。

私はこの秋、本学に再入学致します。人生は今や百年時代、これからも放送大学で学友の皆様方と一緒に楽しく切磋琢磨していきたいと思っております。簡単ではありますがこれを持ちまして、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございます。

卒業生からアドバイスやメッセージ

「駄目な自分との付き合い方」 石崎 泰代 様（心理と教育コース卒業）

覚えては忘れる日々です。テストが無ければ、15回の講義も全て受講する事も怪しい私です。そんな駄目な私がアドバイスとは、とても僭越ですが、私にとっての放送大学の学びについて考えてみました。

私は、大学中退の克服が動機としてあったと思います。学校教育から何年も離れていた私がどこまで通用するのか？ なんとか卒業に持ち込めて一安心でした。

講師の方々の自己に厳しい科学的な思考に感銘を受けています。私は数学や外国語など興味が散らばり、深みに欠けます。「自然科学はじめの一步」は落第ですが、宇宙や地球を考える良い機会となりました。知識不足を実感する日々です。駄目な自分とこれからも向き合い、少しでも克服していく事が大切だと思います。肩に力を入れず、二学期から人間と文化コースに入学して、再スタートします。

「学びの山々」 上月 守 様（自然と環境コース卒業）

きっかけは放送大学の広告が目にとまり、学び直しの気持ちで科目履修生の「初歩の数学('08)」を申し込んだことでした。面白くなり、次に選科履修生の1年間コース(2クール)で続けていると、あれよあれよと50単位を超えてしまいました。そこで全科履修生の「自然と環境」で30年ぶりの大学生になりました。そこから面接授業の参加が可能となり、担当教授の直接講義で更に学びの意欲が倍増しました。また、テニスサークルや試験後の懇親会に参加させて頂き楽しい学生生活を送りました。私の学びのイメージは、巨人の肩からまだ知らなかった世界を眺めることです。放送大学の全科履修生という山の登山で山頂からまわりの風景を眺めると遠くに興味のある山々が見えました。そこで次の学期から「情報コース」の山頂を、目指すことにしました。この様に生涯私の学びの山登りは続いていく気がします。

「卒業するにあたって」 島田 文子 様（社会と産業コース卒業）

好奇心の趣くままに学び続け、今回6コースを終えることになりました。

現職中の時間の遣り繰りが、懐かしく思い出されます。今は時間がたっぷり有るにも拘らず、使い方が雑で反省しなければと改めて決意を固めています。

当時栃木SCでは、心理学実験実習が少なく、南関東ブロックまで、毎月面接授業に通い、職業上必要不可欠と思えた心理学を学ぶことが出来たと自負しております。

退職後は、「おもしろそう」「知りたかったけど、知らなかった」が基本の面接授業選びとなり、心より楽しく学ぶことが出来ました。知見は広がり、おそらく一生接することも無かったであろう旋盤という機械を操り（助手の先生方による手取足取ではありましたが）作品を一つ作り上げた事

も、忘れられない学びのひとつです。

再三公言していることですが、物理や数学は、高校以後一生学ぶことがないと断言していましたが、単位上學ばざるを得なくなり、すばらしい成績とは申せませんが、なんとかクリアすることが、できました。

放送大学の良い所で、単位を取得した後にも、その授業を再度受けることが出来、何回も繰返し学べることです。毎回新しい発見や学びが、深まっていきます。これがもしかしたら生涯学習の真髄なのではないだろうか今回卒業するに当って、実感した次第です。

今後も、放送授業を楽しんで、学び続けたいと思っております。

「今も学び続けています」 MH 様 (生活と福祉コース卒業)

3年前に6年かけて124単位を苦勞して取得し卒業しました。退職後で還暦を過ぎた生活の中ではテキストを読むことも、45分の視聴も苦痛でしかありませんでした。ところが学位を取り終えた今もさらに継続入学をし、別のコースで学び続けています。時間だけはたっぷりある今、学ぶことが自分を支えていると感じています。また単位を取らなくてはならないとの切迫感も無く気軽に学べるのが良いのでしょうか。コロナウィルスの理解も、世界の動向も今までとは異なる見解で見ることができるよう気がします。諸行無常と言いつつも、狭い世界に留まりがちな自分を改める機会を与えられているようです。

「一人の車椅子ユーザーからの応援メッセージ」 吉田 隆寿 様 (心理と教育コース卒業)

この度、私吉田隆寿は、単位が無事にそろったため、卒業することになりました。

と言っても、認定心理士の資格を取るために選科履修生としてまたお世話になるため、あまり大きなことは言えませんが、勉強面と単位認定試験の対策を中心にアドバイスしたいと思います。

まず、普段の勉強面に関してですが、テキストと放送授業のどちらか一方から先に取り組むといいと思います。特に放送授業は、テキストに載っていないこともあるため、私と同じように、障がいを持った方が、放送を聞きながらノートを取るのとは極めて困難です。授業を視聴しているときは、テキストをサラッと見るだけに留めておき、視聴を終えてからゆっくりまとめるのがベストだと思います。

続いて、単位認定試験に関しては、主に、教科書に載っている内容が多いため、テキストはきちんと最後まで読破し、放送授業の内容も工夫して、必ず覚えておいてください。

そして、テスト直前に、それらをしっかりと復習すれば、きっと合格するに違いありません。みなさんが、好成绩を収め、無事に、ご卒業されることを、心よりお祈りいたします。

お寄せいただき、ありがとうございました！



2021年度第2学期単位認定試験

2021年度第1学期単位認定試験同様、2021年度第2学期単位認定試験についても、新型コロナウイルス感染症が拡大する可能性を考慮し、代替措置による自宅受験にて実施いたします。

※学習センターの図書・視聴学習室での試験問題の閲覧や印刷、受験はできません。

試験期間

予定していた日程を変更し、以下の日程で実施いたします。

2022年1月14日(金) ~ 2022年1月21日(金) 消印有効

※事前に周知していた日程とは異なります。配布済みの授業科目案内やシステムWAKABAの時間割等は、変更前の日程で記載されていますので、期間をお間違えのないようご注意ください。

試験問題について

下記の①②のいずれかの方法により入手してください。

①試験期間中、放送大学ウェブサイトからリンクされたウェブページ(※要ユーザー名(ID)・パスワード)に、科目別に試験問題(PDFファイル形式)が掲載されます。ご自身のパソコン・スマートフォン等からアクセスし、閲覧してください。

期間中は何度でも閲覧可能で、利用できるプリンターがあればプリントアウトも可能です。プリンターはないがプリントアウトしたい方は、②の方法で印刷してください。

②Web上で試験問題を閲覧する環境がない方、またWeb環境はあるがプリントアウトができない方については、主要コンビニエンスストア設置のコピー機端末で提供されているプリントサービス(有料)を利用して試験問題を印刷してください。

※料金は、枚数単位のため科目により異なります。

①のユーザー名(ID)・パスワード、②の各コンビニエンスストアの利用方法等、詳細については大学本部からの案内(12月末頃発送予定の解答用紙等に同封)をご確認ください。

※案内が1月7日(金)になっても未着の場合は、大学本部(043-276-5111)へお問い合わせください。

答案の提出方法

大学本部から送付された「解答用紙(択一式マークシート・記述式解答用紙)」と「提出用封筒」を使用し、試験期間内(提出期限(2022年1月21日(金)消印有効)まで)に答案を大学本部に郵送してください。

※郵便局窓口の営業時間や、ポストの集荷時刻および消印日付を必ず事前に確認してください。

試験の結果

試験結果は、2月下旬に「成績通知書」によって通知します。また、システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも成績を確認することができます。(「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は掲載されません。)

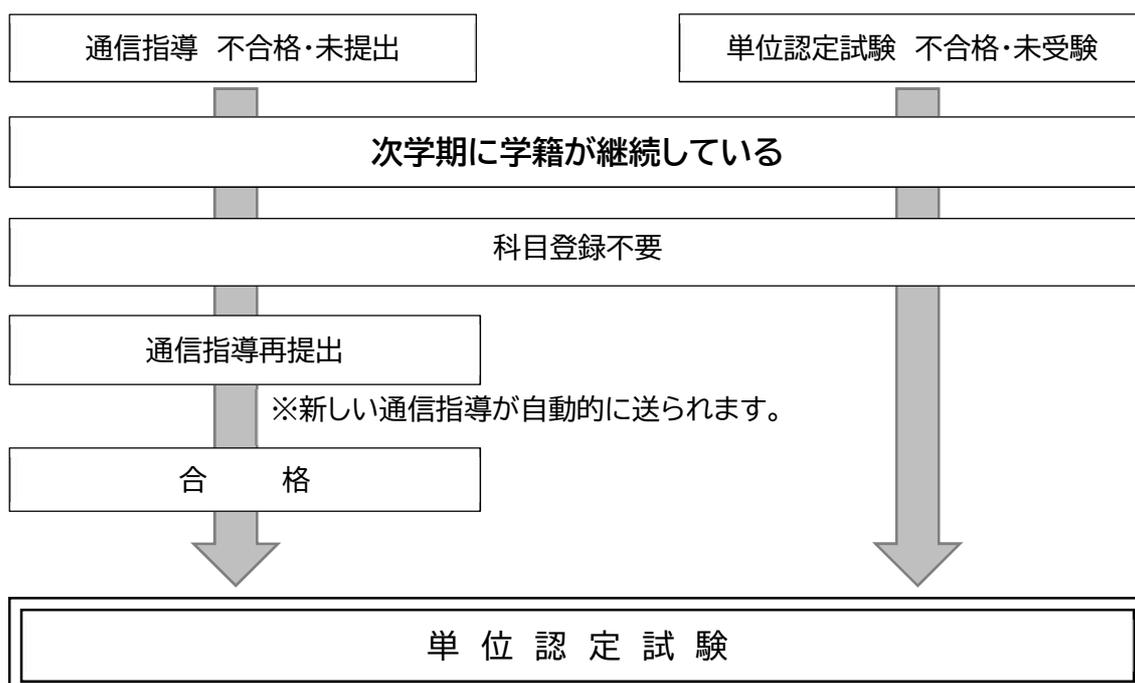
※成績通知書の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システムWAKABAでの確認や、システムWAKABAから科目登録を行うことをおすすめしています。

再試験について

今学期に新規に登録した科目のうち、〔通信指導 不合格・未提出〕または〔単位認定試験 不合格・未受験〕だった科目については、次学期に学籍がある場合に限り、科目登録を行わなくても再試験を受験できます。再試験に係る授業料などはかかりません。

今学期で在学期間が終了する方は、継続入学の手続きが必要です。

詳しくは「学生生活の栞」(教養学部p.75～、大学院p.72～)を参照してください。



次学期の準備(継続入学・科目登録)

p.7の「試験の結果」をあわせてご確認ください。

2月5日(土)になっても「継続入学用出願票」「科目登録申請要項」が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。(電話:043-276-5111(総合受付))

継続入学出願

■面接授業(スクーリング)を登録しない方

※「郵送」と「システムWAKABA」の重複出願はできません。

【郵送】 <<第1回>>2021年11月26日(金)~2022年2月28日(月)大学本部必着

<<第2回>>2022年3月1日(火)~2022年3月15日(火)大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「継続入学用出願票」または学習センター等で配布している「学生募集要項」に添付されている「出願票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】

<<第1回>>2021年11月26日(金)9:00~2022年2月28日(月)24:00

<<第2回>>2022年3月1日(火)0:00~2022年3月15日(火)17:00

■面接授業(スクーリング)を登録する方

※郵送での出願はできません。

※面接授業(スクーリング)のみの出願はできません。放送授業を1科目以上、必ず登録してください。

【システムWAKABA】 2022年2月13日(日)9:00~2022年2月28日(月)24:00

ログインし、「教務情報>継続入学申請」にて出願してください。

■再試験のみを希望する方

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入してください。

この場合の学費は入学料のみとなります。

次学期に学籍がなく、継続入学を希望する方

科目登録申請

※教養学部生で面接授業(スクーリング)を登録したい方は、併せて申請を行ってください。
 ※「郵送」と「システムWAKABA」の重複申請はできません。

【郵送】 2月13日(日)～2月27日(日)大学本部必着

1月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されている「科目登録申請票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】 2月13日(日)9:00～2月28日(月)24:00

《卒業が見込まれる全科履修生の方》

1月中旬に送付される「卒業見込み者宛て連絡事項」および2月下旬に送付される「卒業認定通知」により卒業となるかを確認のうえ、必要な手続きをしてください。

詳しくは『学生生活の栞』p.94～を参照してください。

卒業とならない方

◆次学期に学籍がなく、引き続き希望する場合・・・継続入学出願
 ◆次学期に学籍がある場合・・・科目登録申請

卒業となる方

再入学を希望する場合・・・継続入学出願

図書だより

図書・視聴学習室閉室日のお知らせ

2022年3月23日(水)は、新学期準備のため終日閉室となります。
 図書や放送教材の閲覧、学生用パソコンの利用はできませんので、ご了承ください。

学生図書リクエスト受付終了

2021年12月23日(木)で学生図書リクエストの受け付けを終了いたしました。
 リクエストありがとうございました。



特別ゼミのご案内

特別ゼミは、少人数で行うゼミ形式の勉強会です。栃木学習センター所属の客員教員から直接指導を受けることができます。

登録ゼミ数の制限はありません☆皆さまの積極的なご参加をお待ちしています♪

【参加資格】

栃木学習センターに所属する学生(学生種別は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】

※受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

※正規の単位としては認められません。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

全ゼミ先着順
です!



【申込方法】

事務室窓口・電話・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込みの際は、氏名・学生番号・希望ゼミ名・ご連絡先をお伝えください。FAXの場合は、明記してください。

電話:028-632-0572/FAX:028-632-0570

受付期間: 1月7日(金)9:00~各ゼミ開講1週間前まで

※事務室窓口でのお申し込みは同日10:00~となります。

① 中学校理科の内容再確認(物理領域)

講師:伊東 明彦(いとう あきひこ) [専門分野/理科教育学、地球物理学]

中学校で勉強した理科の内容をすっかり忘れて生活を送っている人が多いと思います。しかし、我々の日常生活の中には中学校理科に関連した現象がいたるところに顔を見せています。このゼミでは、日常生活でもしばしば出てくる中学校理科、特に物理領域の内容を、実験を交えながら再確認していきます。もう一度理科の内容を思い出して、日々の生活を豊かにしてみませんか。

物理の世界(ニュートンの運動の法則、身のまわりの電磁気現象、光の不思議)

日	時	1月22日(土) 10:30~16:00	定員	10名
会	場	演習室Ⅱ		
持	ち	なし		

② 初心者へのパソコン教室

パソコン操作の
プロが教えて
くれる！！

講師: パソコン教室 ^{グリーンニー} Greeny

これまでの内容をレベルアップし、Excel、PowerPointなどの操作に加え、システムWAKABAへアクセスし、諸手続きを確認します。また、Zoomにおける模擬会議も実施します。

このゼミでは、経験豊富な「パソコン教室Greeny」の講師が、分かりやすく教えてくださいます。

今回は、wordで報告書やチラシを作成(自分で撮影した写真の貼り付け含む)、Excelで家計簿作成(数式の利用やグラフ化など)、PowerPointで簡単なアニメーション作成を行います。システムWAKABAの活用、Zoomでの模擬会議もお楽しみに！

日	時	2月5日(土) 10:00~12:00 13:00~16:00	定 員	8名
会 場	演習室 I			
持 ち 物	USBメモリ(お持ちでない方は事務室で貸し出します。)			
備 考	原則、全時間参加できる方			

③ おいしさを科学する

講師: 大森 玲子(おおもり れいこ) [専門分野/食物学、食生活学]

食材から加工食品を作る過程で、ちょっとした材料の違いから、風味の異なる食品が生まれることがあります。この過程への理解を体験的に深めながら、私たちが味わい、おいしいと感じるときに、どのような要因に影響を受けるのか考えます。

日	時	2月19日(土) 9:30~17:30	定 員	8名
会 場	宇都宮大学陽東キャンパス11号館1階 カフェcommons			
持 ち 物	エプロン、マスク、食材費500円程度、上履き(スリッパ)			

④ 栃木県立美術館「日本画のゆくえー継承と断絶・模倣と創造」展見学

講師: 出羽 尚(いずは たかし) [専門分野/美術史、イギリス文化論]

栃木県立美術館で開催される展覧会「日本画のゆくえー継承と断絶・模倣と創造」の見学を行う。

午前中は栃木学習センターで、展覧会の鑑賞方法、また日本画についての講義・演習を行い、昼食後、栃木県立美術館に移動し、見学を行います。

日	時	2月27日(日) 9:30~17:30	定 員	10名
会 場	午前:演習室II、午後:栃木県立美術館(各自で移動)			
持 ち 物	展覧会観覧費用			
備 考	本ゼミは現地調査を含みますので、「学生教育研究災害保険」に加入することをお勧めします。ご希望の方は、前日までに学習センター窓口で手続きをしてください。			

⑤ 心理検査に触れてみる

講師:石川 隆行(いしかわ たかゆき) [専門分野/発達心理学]

ご存知のように、心理学では、人間の知的発達や心理状態を理解するために心理検査があります。当日は、質問紙法による簡単な知能検査や感情に関する検査を実施したいと思います。

日 時	3月5日(土) 13:00~17:00	定 員	4名
会 場	演習室Ⅱ		
持 ち 物	なし		

⑥ jamoviで学ぶ心理データ解析入門

講師:西谷 健次(にしに けんじ) [専門分野/心理学、教育心理学]

調査・実験データを統計的に解析する「心理統計法」は、心理学を学ぶ人にとっては鬼門です。数式に基づいて統計法を理解していくのが望ましい学び方なのかもしれませんが、まずは「習うより慣れろ」です。R環境で動作するフリーの統計ソフトjamoviを使って統計法を身近に感じてみましょう。
※心理学を学んでいる方の受講を希望します。

日 時	3月12日(土) 9:30~17:30	定 員	8名
会 場	演習室Ⅰ		
持 ち 物	USBメモリ		

公開講演会のご案内

2月に「公開講演会」の開催を企画しています

タイトルや概要は未定です。

詳細が決まり次第、栃木学習センターウェブサイトにてお知らせいたします。

どうぞお楽しみに！



来学期(2022年度第1学期)の単位認定試験

【重要】2022年度第1学期単位認定試験の実施方法等が、以下のとおり変更となりますので、内容を十分に確認いただくとともに、Web受験等に対応できるよう予めご準備ください。

詳細は、12月中旬に大学本部から送付されたリーフレット「【重要】2022年度第1学期単位認定試験実施方法が変わります！」(A3二つ折り)をご確認ください。

※2022-1学生募集要項(11/26～)、2022-1科目登録申請要項(1月中旬～)にも同封されています。

2022年度第1学期 実施方法概要

実施方法は「Web受験方式」を基本とし、一部の科目のみ「郵送受験方式」により実施します。

各科目の実施方法・出題形式(択一式・記述式・併用式)は、『2022年度第1学期授業科目案内』に記載しますので、2022年度第1学期は、実施方法・出題形式も考慮の上、科目登録してください。

Web受験方式

- 自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
- 試験期間中いつでも受験することが可能です。
- 1科目50分の制限時間があります。(受験開始するとカウントダウンが始まり、50分で自動的に終了、一時停止不可、1回のみ受験可能)
- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。

択一式問題

選択肢をクリックすることで解答します。



記述式問題

解答記入欄に文字入力することで解答します。



郵送受験方式

※2022年度第1学期は「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子化学('19)」のみ

- 7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- 試験時間の制限は行いません。
- 出題形式は「記述式」または「(択一式と記述式の)併用式」です。

その他実施についての詳細は、2022年5月中旬ごろ、郵送物及びウェブサイト等でお知らせ予定です。

2022年度第1学期 試験日程

Web受験方式(試験期間):2022年7月15日(金)9:00～7月26日(火)17:00

郵送受験方式(試験期間):2022年7月15日(金)～7月26日(火)《必着》※対象科目(3科目)のみ

Web 単位認定試験体験版について(2021年12月下旬～試験期間前)

2021年12月下旬から、Web 単位認定試験システムの体験版が利用可能になります。

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、2022年度第1学期単位認定試験期間前までに必ず体験版の操作を行ってください。

在籍中の方の場合 <https://shiken.ouj.ac.jp>

①システム WAKABA (<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>) にログイン ID・パスワードを入力してログインします。※1 ※2 ※3

②システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から、「Web 単位認定試験」をクリックします。



- ※1 初回ログイン時のログイン ID・パスワードは、入金確認後 20 日程度で送付される入学許可書（圧着はがき）に記載されています。初回ログイン時は必ずパスワード変更を行ってください。
- ※2 システムの不正使用を防ぐため、**初期パスワードのまま一定期間経過した方は、ログインできなくなっています。**
- ※3 パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は、学習センター、学生サポートセンター（電話：043-276-5111）、教務課教務係（メール：kyomuka@ouj.ac.jp）のいずれかまでご連絡ください。

自宅等でのWeb受験が困難な方へ【要申請】

ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情により自宅等でのWeb受験が困難な方のみ、下記の方法により申請を行うことで、単位認定試験を学習センター等で受験することができます。

ただし、「Web受験方式」の科目を学習センター等で受験する場合、以下のことにご注意ください。

学習センターでの受験

- 「授業科目案内」及びシステムWAKABAに記載の試験日・時間割で一斉に実施します。
- 原則として「試験問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。（記述式の解答のみ解答用紙で行います。）
- 申請後、学習センターでの操作体験への参加が義務づけられます。

*学習センター受験申請方法

上記のことを踏まえ、2022年度第1学期単位認定試験について、学習センター等での受験を希望する方は、下記申請様式にご記入の上、申請期間内に下記宛先に郵送により申請してください。

【申請様式】 学習センター受験申請書(2022年度第1学期の印刷教材等に同封されます)

※印刷教材の発送がない方は「学生生活の葉」等に同封されます

【申請期間】 2022年4月1日(金)～2022年5月23日(月)《必着》

【申請宛先】 〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

キャンパスカレンダー

※変更になる場合がありますので、学習センターウェブサイトをご確認ください。

1月

(ゼ)…特別ゼミ (面)…面接授業 ■ 閉所

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8 (面)	9 (面)
10	11	12	13	14 ☆	15 ☆	16 ☆
17 ☆	18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆	22 (ゼ)	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

【1月の予定】

- 8・9日 (面)「社会福祉」
(面)「心理計測入門」
- 14～21日 ☆ 単位認定試験実施期間
- 15・16日 大学入学共通テストのため臨時閉所
22日 (ゼ)「中学校理科の内容再確認(物理領域)」
- 29・30日 大学入学共通テストのため臨時閉所



2月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5 (ゼ)	6
7	8	9	10	11	12	13 ◎
14	15	16	17	18	19 (ゼ)	20
21	22	23	24	25	26	27 (ゼ)
28						

【2月の予定】

- 5日 (ゼ)「初心者へのパソコン教室」
- 13日 ◎ 2022年第1学期科目登録申請受付開始
(郵送：2/27必着、Web：～2/28)
- 19日 (ゼ)「おいしさを科学する」
- 25日 宇大個別試験のため臨時閉所
- 27日 (ゼ)「栃木県立美術館「日本画のゆくえ-継承と断絶・模倣と創造」展見学」



3月

月	火	水	木	金	土	日
	1 ◎	2	3	4	5 (ゼ)	6
7	8	9	10	11	12 (ゼ)	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 (図)	24	25	26	27 ●
28	29	30	31			

【3月の予定】

- 1日 ◎ 2022年第1学期出願受付(第2回)開始
(～3/15)
- 5日 (ゼ)「心理検査に触れてみる」
- 12日 (ゼ)「jamoviで学ぶ心理データ解析入門」
- 23日 (図) 図書・視聴学習室 終日閉室
- 27日 ● 修士論文・卒業研究発表会



学習相談日(1月～3月)

主に毎週土曜日(13:00～17:00)に学習相談日を設けています。

ご希望の方は「学習相談申込書」に記入の上、事務室までお申し込みください。

手続きの詳細につきましては、栃木学習センターウェブサイトまたは事務室までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※先生や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談に応じることができます。

教員名／現職	専門分野	相談日
相田 吉昭 宇都宮大学教授	地質学 古生物学	1/8,2/12,3/5
石川 隆行 宇都宮大学准教授	発達心理学	1/22,2/19,3/12
出羽 尚 宇都宮大学准教授	美術史 イギリス文化論	1/8,2/12,3/12
大森 玲子 宇都宮大学教授	食物学 食生活学	1/29,2/19,3/19
佐藤 美恵 宇都宮大学教授	情報工学	1/8,2/5,3/5
西谷 健次 作新学院大学教授	心理学 教育心理学	1/22,2/19,3/12
渡邊 信一 宇都宮大学准教授	工学教育 感性工学	1/22,2/12,3/12
伊東 明彦 栃木学習センター所長	理科教育学 地球物理学	随時対応

放送大学栃木学習センター

- 開所時間:現在、新型コロナウイルス感染症への対応として、10:00～16:00(窓口)となっています。
変更がありましたら学習センターウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。
※電話対応は従来通り9:00～17:30受け付けています。

■閉所日:月曜・祝日休

〒321-0943 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス内)

【HP】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【TEL】028-632-0572 【FAX】028-632-0570 【E-mail】tochigi-sc@ouj.ac.jp

「とちの実 第123号」は12月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。

次号は4月号発行予定です。「とちの実」は年4回発行